

ご祈禱のご案内

午前九時より午後五時頃まで完全予約にて執り行います。事前にお電話にてお問い合わせ下さい。

ご家族や個人の御祈禱

家内安全・身体健康・合格祈願・八方除方位除・心願成就・病氣平癒・必勝祈願・お宮参り・七五三詣・安産祈願 等

交通安全祈願・車輛清祓(車購入時)

厄祓厄年表・数え年

男 二十五・四十二・六十一歳…本厄 女 十九・三十三・三十七歳…本厄

会社や団体の祈願

商売繁盛 社内安全・安全祈願・必勝祈願・合同厄祓・還暦祓 等

神社から出向してのお祓

家祓・地鎮祭・火入れ式・解体祓・井戸祓・木伐祭・旅館等での団体祈願等

氏神祭・神棚祭(お日待ち)

各戸毎に昔から決まった日に行われてきたお祭で、床の間や神棚の前と、邸内社(お明神様など)の前に祭壇を設け、家内安全と無事息災を祈ります。 方位・家相・年回りの相談

秋保神社社報

奉祝 御本社御鎮座五百年 平成二十六年

引き続き記念事業のご奉賛を募集しております



神輿奉納式にて(高千穂神社後藤宮司と秋保神社役員たち)

ご家庭の幸せは、まず神まつりから

一・十五日は神社へお参りしましょう

慰霊 終戦七十周年 御英霊に感謝

例大祭のお知らせ

今年の例大祭は、祭礼日である九月十五日を守りつつ、十二・十三日の土日に奉祝行事を行う予定です。

今年は特別に十二日に能楽が奉納される他、楽しいお祭りにすべく目下計画中です。お誘いあわせお参り下さい。

終戦七十周年記念

秋保地区戦没者慰霊祭のご案内

我が国の平和と繁栄の礎として地元より出征され尊い命を捧げられた戦没者のみ霊に対し、九月十五日(午後三時から)の例大祭本祭に続き、神社境内の慰霊碑前に祭壇を設け、五年ぶりに秋保出身戦没者の慰霊祭を斎行致します。

御遺族の高齢化により今では遺族会も解散した為、終戦七十周年に当たり神社が発起して行うことと致しましたが、国家の為、郷土の為、家族の為に散華された御英霊に慰霊と感謝の誠を捧げるのは今を生かされる私たちの責務です。ご遺族の手柄のみならず、どなた様にも御参列頂きたく、ここにご案内申し上げます。つきましては、参列希望の方は神社直接か地区総代にお申し込み下さい。

勝負の神の御加護を

勝負の神の御神徳が広まり、有名なアスリート(スポーツ関係者)も度々訪れるようになりました。一般でも必勝祈願をされたチーム等が優勝を果たすなど想像以上の成績に御礼参りも絶えません。

これも偏に大神様の御利益の賜物であるとともに、それを受け止めるだけの不届きの努力があつてのこと。昔から戦の神・心願成就の神として静かな信仰がありました。人生何ごとも勝負、是非近い皆様にも御神徳を頂いて、悔いなき日々をお過ごし下さい。

また御守ではフィギュアスケートの羽生選手をイメージした新勝守も人気です。



編集後記 来年のG7財務相会議が秋保で開催される。これまでも国際交流の一助にと神社の事を英訳もしてきた。しかし先ずは足元から。社報をはじめ様々な機会を通じ、世界に誇るべき地域の素晴らしさを伝えてまいります。

ご挨拶

秋保神社社報 第一五号 発行所 秋保神社社務所 代表者 宮司 高山晃和 仙台市太白区秋保町長袋字清水久保北三三 電話 〇二二 三九九 一三〇八

新聞紙面でも大きく取り上げられましたので既にご承知の方も多いと思われませんが、あらためて、今年の例大祭に際し、震災復興の願いを込めて、宮崎県は、神話の里・天孫降臨の地で知られる高千穂町に鎮座する高千穂神社より、当神社へお神輿の寄贈がありました。

昨年は当神社の主祭神・諏訪神社が御鎮座になられてより五百年にあたり、記念行事として例大祭で約五十年ぶりに神輿渡御を復活し、諏訪神社時代の氏子区域を巡行致しました。

内外多くのご協力を頂き大成功を修めることが出来ましたが、この時はお神輿をお借りして行うしかなく、是非自前の神輿をと切望してありましたところ、震災支援の為度々被災地を訪れていた東京の下谷神社阿部宮司様のお声掛けもあつて、話は遠く宮崎まで届き、高千穂神社後藤宮司様のお

宮崎においてはマスコミ関係の力添えもあり多くの県民の知るところとなり、風化する東日本大震災に少なからず意識を向けて頂きました。また同じような環境の地域通しの交流にも繋がるかと期待しております。

今年の神輿渡御は自前の神輿を担ぐことが出来るとあつて、昨年参加した若手衆をはじめ徐々に盛り上がりつつあります。次代の地域を担う若い方々にぜひご参加いただき、神輿渡御でしか味わうことが出来ない達成感を共にして頂きたいと思ひます。また、最初ということから今年はこの馬場地域を巡行致しますので、どうぞ一緒に御神威をお受け下さい。遠く高千穂より賜った支援の意を有り難く承り、これも大神様の思召しと知つて、今こそ真の地域の絆を結んでいこうではありませんか。祭りの意義がここにあります。

**初穂会総会が開催される**六月七日(日) 事業報告並びに決算及び予算案が承認され、また新役員が選任されました。

御高配を賜りますようお願い申し上げます。 挨拶とさせていただきます。

近代化が進み、人々の心の支柱となっていたものが徐々に失われつつある現代にあつて、ここ秋保においては今もなお、先祖代々守り伝えてきた地域の祭であり、信仰の姿など各所に静かに息づいております。

**地域を先導する総代会改選報告**

総代会長 早坂 衛(境野)、  
副総代会長 山下康治(野中)  
副総代会長 太田貞夫(湯向)  
佐藤貞昭(野尻)、佐藤 茂(滝原)  
齋藤弘勝(野口森安)、中野正幸(駅)  
太田宏二(加沢)、石垣勝太郎(並木)  
渡辺徳男(大原)、鈴木孝次郎(町)  
三瓶昌憲(館)、猪又 勲(竹の内石神国久)  
太田孝次(湯元)、安藤哲夫(湯向)  
支倉辰五郎(湯元)、佐藤奉直(産子)  
前田 茂(崇敬)、小川日出生(特志崇敬)

**記念事業報告**

お蔭様をもって昨年御本社御鎮座五百年を迎え記念大祭を無事斎行致しました。また記念事業も鋭意進めておりますが、諸般の事情により目標の募財金額に達しておらず、引き続き継続させて頂くことになりましたので、御理解願います。ご芳名はおつて境内に掲示致します。

**資料展示館「秋保の祈り」開館**

当社は秋保 総社の格式で あり元秋保五ヶ村の神信仰や地域の伝統文化継承の中心的役割を果たしてまいりました。



資料展示館の内部

**諸祭儀・行事報告**

**年越し・正月**

今年もまた年末の大雪で清められた荘厳なる境内に、一年の計を誓う多くの氏子崇敬者が訪れました。縁起物として神社特製の福風や、「年越しそば」や「特製甘酒」、「おでん」などが人気でした。

**どんと祭**

正月飾りや古札・古いお守りなどを忌火でお焚き上げし、無病息災を祈るどんと祭。寒さ厳しき中、多くの参拝があり、

**節分祭**



どんと祭の様子

の初奉納もありました。

御神火に今年一年の健康を祈りました。またどんと祭当日、御神前では、仙台市無形文化財の秋保神社神楽

今年も恒例の節分祭が二月三日に先立ち一日(丑)に行われ、年男年女厄年の方や総代の皆さんが袴姿になり、盛大に豆まきを行いました。境内には今年の福を頂こうと大勢の参拝者が訪れ、沢山の福物を授かって賑わいました。

**祈年祭**



節分祭豆まきで賑わう境内

五穀豊穡を祈る恒例の祈年祭が本年も餅つき大会や子供たち向けに凧作りなどの企画もあり、鬼は追い払われ福顔であふれました。

**御神田「お田植え祭」**

今年で四年目を迎えた御神田。氏子の田んぼをお借りして稲作を行っています。五月十六日(壬午)前十時より御田植祭を斎行、続いて田植えが古式にのっとり行われ、今年初めてお披露目となった昔懐かしい早乙女衣装を着た女の子たちをはじめ、め多くの子供たちなど、内外の協力者の方々により執り行われました。



御神田前にて

**夏越の大祓**

早乙女衣装は、地域のご婦人方のご奉仕により可愛らしく縫製頂きました。今年はお供えと、希望者には御神米として相澤米穀店が窓口になり、神社でも販売する予定です。

全国的神社では、無病息災を祈念して年に二回大祓式が執り行われる。当社社において一年の半分に当たる六月三十日午後三時より「夏越大祓式」が斎行されました。

古来より「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のぶといふなり」とうたわれ、参列者は宮司につづき「形代祓い」と「茅の輪くぐり神事」を行い心身の罪・穢れ的一切を祓い清めました。尚、予めお預かりした人形は、身代わりにお祓いを受けた後、大海原に祓い流されました。(次は年越大祓「とき縄神事」があります)



茅の輪くぐりの様子